横浜市立大豆戸小学校

学校だより

令和8年5月29日
6月号

よりよい自分をつくる大豆戸の子
～なかよく かしこく たくましく 笑顔いっぱい 大豆戸の子～

学校ホームページ

重点研究の話合いで『もっと楽しい』授業へ

校長 八城 政徳

5年3組 社会の学習の板書

学校では毎年テーマを決め、授業力向上を目指して重点研究に取り組んでいます。各学級が1回ずつ授業を行い、それを見合った後で成果や課題を出し合い、成果を他の学級に活かすとともに、課題の解決に向けてより良い方法を考えていきます。

5月26日には今年度の第1回目の重点研究として、2年1組・3年1組・5年3組の授業をみんなで参観し、研究を深めました。このような研究を進めていくうえで大切なことは、子どもたちにどのような力を身に付けたいかということです。学年の発達段階によっても違いはありますが、どの学年にも共通することとして『聴く』ことと『話し合う』ことにスポットを当てて、子どもたちの力を高めていきたいと考えています。

相手の話を『聴く』ためにも、誰かと『話し合う』ためにも、一人ひとりが自分なりの考えや想いをもっていることが必要です。それがあるからこそ、相手の考えや想いを『聴く』ことで、共感したり新しい発見をしたりすることができます。そして、みんなで『話し合う』ことで、自分と相手の考えや想いを伝え合い、一つのアイディアにまとめたり、より良い方法に高めたりすることができます。

日々の授業のなかではこのような場面がたくさんあるため、子どもたちがタブレット等を活用して、表現方法や学習方法を自己選択しながら、主体的に学習に参加できる手立てを毎回の重点研究のなかで見つけていけるように取り組んでいます。授業を重ね、教員が『話し合う』ことで、『もっと楽しい』授業を目指し、子どもたちの力を伸ばしていけるよう研鑽していきます。

5月25日に、学校運営協議会委員の皆様に授業参観していただいた際には、子どもたちが学習に前向きに取り組んでいるという感想を話してくださいました。ご家庭でもお子さんと『聴く』ことや『話し合う』ことについて話題にしていただけると嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします。